

# 令和6年度 日田教育事務所 重点方針

## I 基盤となる学校マネジメント — 学校マネジメントの深化 —

### (1) 「学校評価の4点セット整理票」の効果的な活用

#### ① 目標達成マネジメント

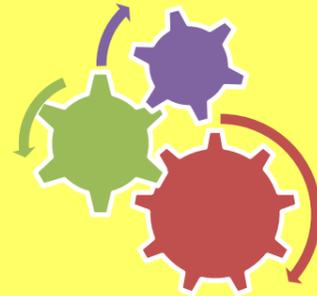
- 【観点Ⅰ】 育成を目指す資質・能力を明確にした学校教育目標等の設定・見直し及び家庭・地域との共有
- 【観点Ⅱ】 短期及び年度を跨いだ検証・改善プロセスの質の向上

#### ② 組織マネジメント

- 【観点Ⅲ】 主任等が効果的に機能する学校運営体制
  - ◇ ミドルアップダウン・マネジメントの質の向上
  - ◇ 専門スタッフ等の専門性が発揮できる体制の工夫

#### ③ 「連携と分担」によるマネジメント

- 【観点Ⅳ】 学校・家庭・地域の当事者意識の向上（目標協働達成）



### (2) カリキュラム・マネジメントの推進

#### ① 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの充実

#### ② カリキュラム・マネジメントの視点からの学校行事等の見直し



## II 組織的課題解決に向けた「学校マネジメントを活用した取組」

### 1. 授業改善の徹底

#### (1) 自立した学習者の育成を目指す授業改善の推進

- ① 単元構想や単元計画を意識した授業づくり
  - 育成を目指す資質・能力の明確化（単元・単位時間の評価規準）
  - 児童生徒と創る「めあて」「課題」（単元・単位時間）
  - 深い学びにつながる「振り返り」（単元・単位時間）
  - 児童生徒が選択できる学習プロセス
- ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
  - 1人1台端末（ICT）の効果的な活用
  - 「努力を要する状況」の児童生徒等、個に応じた手立ての工夫
  - 授業と関連した家庭学習の充実
  - 学習記録の充実



#### (2) 幼保小の協働による架け橋期の教育の充実

- スタート・カリキュラムを含む小学校第1学年の教育課程の検証・改善
- 幼保小の協働による架け橋期の教育充実に向け、市町教育委員会との連携



#### (3) 特別支援教育の視点からの授業改善

- 通常学級に在籍する教育的支援を必要とする児童生徒に対する「個別の指導計画」の検証・改善サイクルの充実

### 2. 体力向上の推進と健康課題への対応

#### (1) 個に応じた体力づくりの組織的な取組の推進

- ① 児童生徒の「わかる」「できる」「楽しい」を意識した授業づくりの推進
  - 小学校体育専科教員や中学校体育推進教員の活用促進
  - 1人1台端末の効果的な活用促進
- ② 個の目標に応じた検証・改善の充実
  - 「1校1実践」の短期検証・改善
  - 「体力向上プラン」の質の向上
  - 家庭と連携した運動習慣の定着推進



#### (2) 食習慣・生活習慣の改善に向けた取組の推進

- ① 歯と口の健康づくり
  - 養護教諭等を中心として組織的に取り組み、家庭とも連携し、「フッ化物洗口」「歯みがき指導」の充実
- ② バランスのよい体格づくり
  - 養護教諭、栄養教諭、家庭等と連携した食習慣・生活習慣の定着推進（スクリーンタイムの把握等）



### 4. 学校における働き方改革の推進

### 3. いじめ・不登校対策等の推進

#### (1) 「早期発見」「解決支援」に向けたいじめ・不登校対策等の推進

- ① 「生徒指導の3機能」を活かした授業づくりの推進
- ② 「人間関係づくりプログラム」の活用推進
  - 児童生徒の振り返りの工夫（1人1台端末活用等）
  - 児童生徒の心の変容の見取りを充実
  - hyper-QU等の活用
- ③ SC・SSW等の専門スタッフが参加する校内いじめ対策委員会の定期的開催

#### (2) 教育支援施設の状態把握及び支援

- ① 「学びの多様化学校（玖珠町）」の状態把握
- ② 教育支援センターやフリースクール等との連携強化
- ③ 子ども食堂等の状態把握



- (1) 学校の実情に応じた取組の推進（1改善運動）
- (2) 会議・分掌・行事等の精選・重点化を図る工夫
- (3) 業務の効率化に向けた更なるICTの活用

